

■ 事業進捗状況チェックリスト

[1] 緑の資産の保全と継承

進捗状況評価 判定基準

A : 実施した（アクションがあった） B : 検討した（アクションに向け準備した） C : 実施しなかった。予定通りにいかなかった（アクションがなかった）

参考資料 4－1

※令和４年度に使用した資料です

事業別（下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和４年度回答】 取り組み状況	進捗状況 評価	評価視点	【令和３年度回答】 取り組み状況	進捗状況 評価
1-1 板橋区緑の保全方針による樹林地等の保全										
特別緑地保全地区制度の活用				保全方針における特別保全樹林等への制度の活用を進めます。	みどりと公園課	土地所有者と緑の保全について意向を確認し、特別緑地保全地区制度の活用を検討中である。	B	土地所有者と緑の保全について意向を確認するなど、制度の活用を検討しているため、B評価とした。	増減なし 確保候補地所有者一部の意向確認	B
市民緑地制度の活用				一般開放が可能な民有緑地への制度の活用を進めます。	みどりと公園課	市民緑地の増減なし 新たな市民緑地を打診・検討中	C	近年、新たな市民緑地の認定実績が無く、制度の活用を進められていないため、C評価とした。	増減なし 新たな市民緑地を打診・検討中	C
保存樹林・竹林制度の運用				良好な樹林地等の保全を支援する制度として運用します。	みどりと公園課	R4.12末時点 保存樹林:30,462.57㎡ 保存竹林:853.99㎡	C	実態として減少傾向にあるため、C評価とした。	保存樹林:30,462.57㎡ 保存竹林:1,268.86	C
樹林地管理方針の検討				生物多様性向上に向け公園内樹林地の維持管理手法を検討します。	みどりと公園課	今年度中の策定に向け作業中	A	昨年度に引き続き、関係部署との調整を図りながら方針の具体化を進めているため、A評価とした。	内容をブラッシュアップしながら、管理方針を定める素案を引き続き作成中	A
税制改正など国・都への要請				都市部の貴重な樹林地保全に向けた税制改正等を要請していきます。	みどりと公園課	継続（特別区長会要望）	B	継続要望のためB評価とした。	継続（特別区長会要望）	B
1-2 歴史ある大径木の保全										
保存樹木制度の運用		※		大径木の保全を支援する制度として運用します。 ※ 名木等への助成強化を検討します。	みどりと公園課	R4.12月末:1692本 （新規指定15本、解除:29本） 保存樹木等調査の実施	A	保存樹木の新規指定はしているが、近年、指定解除が多く、減少傾向が続いている。しかし、区職員による調査により、危険木の判定を実施したため、A評価とした。	R4.4.1現在1,706本名木等への助成強化について検討中	C
景観重要樹木の指定				公園内樹木への指定も視野に、制度の活用を進めます。	みどりと公園課 都市計画課	担当部署間で課題を共有	B	関係部署との調整が進んでいないため、C評価とした。	増減なし	C
保存生垣制度の運用				緑の街並みの保全を支援する制度として運用します。	みどりと公園課	R4.12月末:3225.1m （新規指定88.7m、解除127.5m）	B	解除により全体延長は減少したが、新規登録もあったため、B評価とした。	R2末:3,302.60m （R2年度:新規指定7.0m、解除:46.6m） R3.12月末:3,263.90m （新規指定44.2m、解除:82.9m）	B
区登録記念物となっている名木等の保全		※		保存樹木制度を運用します。 ※ 名木等への助成強化を検討します。	みどりと公園課 生涯学習課	継続	B	現状の保全は継続しているが、助成内容の検討は進められていないため、B評価とした。	増減なし	B